

「事/こと」・「時/とき」・「所/ところ」・「物/者/もの」の使い分け例の一覧表

これは、国語辞書や用字用語集など12冊に収録されている上記4語について、漢字/平仮名の使い分け例を集め、1語ごとに串刺し検索が出来るようにした物である。

【使用例欄の見方】 ①漢字/平仮名使い分け該当部分の文字を目立つように太文字にした。②「遊び事」、「時ならぬ」や「勝負どころ」のような慣用句(イディオム)は典拠にある表記どおりに表示した。③「時には酒を飲む」のような例文の場合は、入れ替え可能な部分を()で囲んで「時には(酒を飲む)」のように表示した。④「正しいものと認める」のように該当部分の直前が用言の場合、その語幹部分までを()に入れた。⑤[]で表示した部分は、典拠の文書で括弧表示されている読みや説明で、文字列検索や文字変換時には不要なものである。

【読み欄の見方】 ①使用例欄で、()と[]でくくられていない部分の読みを、半角片仮名で表記し、語ごとに昇順ソートをした。これにより、同様な使用例が連続して表示できた。

【典拠欄の見方】 典拠とした12冊の書籍を以下のように略して表示した。

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 林⇒スーパー大辞林3.0 三省堂 2005 | 記⇒記者ハンドブック第13版 共同通信社 2019 |
| 日⇒日本語スタイルガイド第3版 TC協会 2016 | 文⇒文部省用字用語例(昭和56年12月) |
| 新⇒新聞用語集 日本新聞協会 1996 | 読⇒読売新聞用字用語の手引き(第3版) 中央公論新社 2011 |
| 毎⇒毎日新聞用語集[改訂新版] 毎日新聞社 2007 | 朝⇒朝日新聞の用語の手引き[改訂新版] 朝日新聞社 2007 |
| N⇒NHK新用字用語辞典 日本放送協会 2008 | 漢⇒NHK漢字表記辞典 NHK放送文化研究所 2012 |
| 正⇒日本語の正しい表記と用語の辞典第三版 講談社 2015 | 言⇒言葉に関する問答集総集編 文化庁 1995 |

【その他】 ツドキを「梅雨時/梅雨どき」のように典拠によって表記が異なるもの。同音でも意味が違うものは除く。

「事」「こと」使用例	読み	典拠
遊び事	アソビコト	記
荒事	アラコト	記
争い事	アライコト	記
あらぬ事	アラヌコト	記
(彼女は私の)言うこと(がよくわからないらしい)	イウコト	林
(うまいこと(やれ))	イコト	林
(うまいこと(を言う))	イコト	記
(うまいこと(処理した))	イコト	朝
(今日はいいこと(をした))	イコト	林
(長いこと(留守にする))	イコト	林
祝いごと	イワイゴト	林
大ごと	オオゴト	記
鬼ごと[=鬼ごっこ]	オニゴト	林
隠し事	カシゴト	朝
考えごと	カンガエゴト	林
考え事	カンガエコト	記、日、朝
聞いた事	キタコト	日
きれいごと	キレイゴト	林
詳しい事(はあとで話します)	クワシイコト	林
芸ごと	ゲイゴト	林
芸事	ゲイコト	記
(愚息)こと	コト	林
(清水次郎長)こと(山本長五郎)	コト	林
事新しい	コアタラシ	記、毎、朝、漢
(一朝)事ある時(は)	コアルキ	林、朝
事あれかし	コアレカシ	朝
(・・・)ことがある	コガア	林
(外国へ行った)たことがある	コガア	林
事欠く	コカク	記、N、漢
事が事だ(けに)	コガコトダ	朝
(・・・)ことがない	コガナ	林
事が運(ぶ)	コガハコ	読
事が面倒	コガメンドウ	記
事柄	コガラ	記、文、N、漢
こと切れ(る)	コキレ	N、漢
事ごと(に)	コゴト	朝、N、漢
事細か(に)	ココマカ	記、毎、朝、N、漢
事足り(る)	コタ	記、毎、N、漢
(・・・)ことだ	コトダ	林

事と次第(によっては許せない)	コトシダイ	林、記、読、朝、正
事なかれ主義	コトナカレシユギ	記
事なきを(得る)	コトナキヲ	林、読
(・・・)ことに(する)	コトニ	林
事に当たる	コトニアタル	記、文、朝
(・・・)ことに(している)	コトニシ	林
(・・・)ことにな(る)	コトナ	林
事に触れ(て)	コトニフル	読
ことによると	コトニヨルト	記
事の起こり	コトノオコリ	林、記、日
事の推移(を見守る)	コトノスイ	林
事のついで(に)	コトノツイデ	記
事始め	コトハジメ	新、読、毎、朝、N、漢
事は重大(だ)	コトハジメウダイ	林
(・・・)ことはな(い)	コトハナ	林
(何も急ぐ)ことはな(い)	コトハナ	林
事もあろうに	コトモアロウニ	記
事もなげに	コトモナゲニ	記
事を荒立て(る)	コトワアル	読
事を起こ(す)	コトヲオコ	記、文
事を構え(る)	コトヲカマエ	記、漢
事を好(む)	コトヲコノ	読
事を分け(て説明する)	コトヲケ	林
(研究)している事	シテイコト	記
(許可)しないこと(がある)	シナイコト	文
自分の事(は自分でしなさい)	ジブンノコト	林
(英語を)話(す)こと(ができる)	スコト	林、正
(勉強)すること(だ)	スルト	朝
(彼に裏切られ)たこと(は一生涯忘れられない)	タコト	林
(彼の言っ)たこと(を聞いたか)	タコト	林
(聞いた)こと(がない)	タコト	記
(それについて深く考え)たこと(がない)	タコトガナ	林
(見)たこともな(い)	タコトモナ	記、日、読、朝
(黙っ)ていたということ(は、認め)た-になる	外イウコト	林
(もし彼に知られ)たら事(だ)	タラコト	林
(失敗)したら事(だ)	タラコト	読
作り事	ツクリコト	記



(準備)ておくこと	テオクコト	記
出来事	デキゴト	記
(・・・)ということ(だ)	トイウコト	林
(・・・)と言うこと(にした)	トイウコト	朝
(彼は来年留学する)ということ(だ)	トイウコト	林
どんな事(が起こっても驚く な)	ドンナコト	林
(勝手)なこと(をするな)	ナコト	記、読
(彼が有能)なこと(を認めな い人はいない)	ナコト	林
悩み事	ナヤミゴト	記
習い事	ナライゴト	記
願い事	ネガイゴト	記
(・・・)のこと(だ)	ノコト	林
(・・・)のこと(をいう)	ノコト	林
(二)のこと(は)	ノコト	記
(その)こと(を忘れないで)	ノコト	朝
(タイガーとは虎)のこと(をい う)	ノコト	林
(今の話の某氏というのは遠 藤さん)のこと(だ)	ノコト	林
(私)の事(をほめてくれた)	ノコト	林
(試験)の事(を話す)	ノコト	林
(人)のこと(みたいに)	ノコト	記
(彼は彼女)の事(が好きらし い)	ノコト	林
(彼の)事(だからうまく処理す るだろう)	ノコト	林
(自分の)したこと(を反省しな さい)	ノシタコト	林
はかりごと	ハカリゴト	林
人ごと [=ひとごと]	ヒトゴト	記
ままごと	ママゴト	林
見事	ミゴト	記
(読)むこと	ムコト	記
物事	モノゴト	記
約束事	ヤクソクゴト	記
(この際)真実を述べること(が 一番いい)	ルコト	林
(見)ること(ができる)	ルコト	記
(合格)したかったら勉強ること だ)	ルコト	林
(風邪)気味の時は早く寝ること だ)	ルコト	林
(・・・)すること(にしている)	ルコトニ	記、N、漢
(試)してること(にしました)	ルコトニ	林
(朝)は6時に起きること(にし ている)	ルコトニシ	林
(彼)に同情することは(いい)	ルコトハナ	林
(乗)ることも(ある)	ルコトモ	日
私こと(このたび)先に転居致 しました)	ワタクシコト	林、文
(あんな)こと(になって)	ンナコト	記、読
(そんな)こととは(知らずに)	ンナコトハ	記
「時」「とき」使用例		
読み	典拠	
いざというとき	イザトイウキ	記、読
一時	イツキ	林
(暑)いとき(は)	トキ	日
(頭が)痛いとき(は、この薬を のむとよい)	トキ	林
(都合)の悪(い)とき	トキ	記
(行)けな(い)とき(は連絡する)	トキ	記
売り時	ウリトキ	記
売りどき	ウリトキ	林
書き入れ時	カキイレトキ	記
書き入れどき	カキイレトキ	林
(行)くとき(は)	トキ	日
事有るとき	コトアルトキ	記
木[こ]の芽どき	キノメトキ	林

困ったときの神頼み	コマツタキノカミダ	記、読
(危急)存亡の時[=秋]	マ	林
たそがれどき	ソボウノトキ	林
(・・・)したとき	タソガレトキ	林
(この前)彼に会った時(は元 気だった)	トキ	N、漢
(事故)が起こったとき	トキ	林
(もしも)帰ってき(た)とき(は)	トキ	記
梅雨時	ツユトキ	記
梅雨[つゆ]どき	ツユトキ	林
時折	トキオリ	記、日、新、読、 毎、朝、N、漢、 正
時が移(る)	トキガウツ	読
時が解決(する)	トキガカイケツ	記
時がた(つ)	トキガタ	漢
時しも	トキシモ	林
時たま	トキタマ	記、N、漢
時々	トキトキ	記、日、N、漢
時として	トキトシテ	林、記、日、N、 漢
時と場合 (どんな)服装がよいか(は)時と 場所(による)	トキトバアイ トキトバシヨニ	記
時ならぬ	トキナラヌ	林
時に[副・接]	トキニ	記、日、N、 漢
時に遭(う)	トキニア	林
時に応じ(た)判断が必要(だ)	トキニオウジ	林
時にかな(う)	トキニカナ	林
時に従(う)	トキニシタガ	林
時には(酒を)飲む	トキニハ	林
時には[たま]には	トキニハ	記
時の(首相)	トキノ	林
時の記念日	トキノキネンビ	文
時の権力 (遊び)に興じて時の経つ(の も)忘(れ)る)	トキノケンリョク	林、記
時の流れ	トキノナガレ	林
時の人	トキノヒト	林、記、日
時は金なり	トキハカネナリ	記、読
時は春	トキハハル	林
時めく[栄える⇒今を]時めく 人気作家]	トキメク	記、新、読、朝、 N、漢、正
ときめく[心が]躍る⇒期待・喜 びで胸が]ときめく]	トキメク	記、読、毎、朝、 N、漢、正
時を得(る)	トキヲウ	読
時を告(げ)る鐘	トキヲツゲ	林
時を待(つ)	トキヲマ	林、記
時を見(て)実行(する)	トキヲミ	林
何時[=なんどき]	ナントキ	記
(子供)の時(の思い出)	トキ	林
(衆院)解散(の)とき(は)	トキ	記
(・・・)のとき	トキ	文
(事故)のとき(は連絡する)	トキ	文
(実行)の時(が来た)	トキ	記
(もし)彼が不在(の)とき(にはど うするか)	トキ	林
花見どき	ハナミトキ	林
引き上げどき	ヒキアゲトキ	林
(会社)の引けどき	ヒケトキ	林
昼飯どき	ヒルメシトキ	林
万一のとき	マンイチトキ	N、漢
(期待)で胸が]ときめ(く)	ムネガトキメク	毎
(・・・)しよう(と)す(るとき(には)	ルキ	記
(社員)を採用(する)とき(は)	ルキ	記

「所」「ところ」使用例		
読み	典拠	
ある所(に行く)	アルトコロ	記、日
(行)く所	トコロ	記
至る所	イタルトコロ	記、毎
(い)いところ(へ来た)	トコロ	正

(広い)所(で遊ぶ)	トコロ	正
(遠い)所(から来た)	トコロ	林
(小説のおもしろい)ところ(だけ話す)	トコロ	林
居所	トコロ	記、毎
今のところ	イマトコロ	記、日、読、毎
今のところ(は心配がない)	イマトコロ	林、朝
(住んでいる)所	イルトコロ	N、漢
打ち所(が悪い)	ウチトコロ	読
腕の見せどころ	ウデノミセトコロ	記、毎
おおよそのところ	オオヨソトコロ	読
(身の)置き所	オキトコロ	毎
落としどころ	オシトコロ	記、毎
思うところ	オモウトコロ	記
(千円)がところ(損をした)	ガトコロ	林
考えどころ	カンガエトコロ	記
考えるところ(があつて)	カンガエルトコロ	朝
勘所	カントコロ	記、毎
(社の)幹部どころ(が集まった)	カンブトコロアツマッタ	林
聞いたところ(では)	キイタトコロ	日
聞くところ(によると)	キクトコロ	林
今日のところは(この程度にしておきます)	キョウノトコロハ	林、朝
きれいどころ	きれいどころ	林
(いま行く)ところ(だ)	クトコロ	正
このところ	コトコロ	記、朝
米どころ	コメトコロ	林、記
(法律の)定めるところ(により)	サダメルトコロ	記、N、漢
(ここが)思案のしどころ	シトコロ	記、毎、朝
正直なところ	ショウジキナトコロ	毎、朝
勝負どころ	ショウブトコロ	記、朝
(自分の)信ずるところ(を述べる)	シンズルトコロ	林
(彼の)めざすところ(の理想)	メザスルトコロ	林
(・・・)するどころか	スルトコロカ	朝
(・・・)するどころの騒ぎではない	スルトコロノサワギデハナ	記
すんでのところ(で助かる)	スンデトコロ	林
すんでのところ	スンデトコロデータスカル	毎
そこのところ(をもっと詳しく)	ソコトコロ	朝
(・・・)たところ(が駄目だった)	タトコロ	記
(食べて)たところ(まずかった)	タトコロ	正
(今)方外出したところ(だ)	タトコロ	林
(生まれ)た所	タトコロ	朝
(町を)出た所(に橋がある)	タトコロニ	林
茶どころ	チャトコロ	林
つかみどころ(がない)	ツカミトコロ	林、記
つまるところ	ツマトルトコロ	記
(彼女が一人)歩いて(いる)ところ(を見たことがある)	テイルトコロ	林
(ちょうど)家を出たところ	デトコロ	読、毎
出どころ	デトコロ	記、朝
時と所(を考える)	トキトコロ	林
ところが〔接続詞〕	トコロガ	記、文、読、漢、N、正
所書き	トコロガキ	記、文、毎、朝、N、漢、正
所構わず	トコロカマワズ	読、毎、N、漢
所変われば(品変わる)	トコロカワレバ	林、読、毎
所嫌わず	トコロキラワズ	記、読
所狭し	トコロセマシ	記、毎
ところで〔接続詞〕	トコロデ	文、N、漢
ところで(あれは何だろう)	トコロデ	正
ところどころ	トコロトコロ	N、漢
所々	トコロトコロ	記

(書類に)所と名前(を書き込む)	トコロナマエ	林
所払い	トコロハライ	林、記
所番地	トコロハンチ	林、記、読、毎、朝、N、漢
所を得る	トコロヲウル	読
ところを得(た人事配置)	トコロヲエ	林
(広々)とした所	トシトコロ	日
(出かけよう)とするところに(来客があった)	トスルトコロニ	林
狙いどころ	ネライトコロ	記
(それは)望むところ(だ)	ノゾムトコロ	記
望むところ	ノゾムトコロ	読、朝
(・・・)のところ	トコロ	文
(現在)のところ(差し支えない)	トコロツカエナイ	文、N、漢
(あなた)の所では(何人社員がいますか)	トコロデハ	林
(私)の所では(まだそんな風習が残っている)	トコロデハ	林
(口の上)の所に(吹き出物ができる)	トコロニ	林
(窓)の所に(立つ)	トコロニ	林
(兄)の所は(五人家族だ)	トコロハ	林
(もうすぐ式が)始まる(ところだ)	ハジマルトコロ	林
早いところ(済ます)	ハヤイトコロ	朝
非の打ちどころ(がない)	ヒウチトコロ	記、朝
(見る)べきところ(はない)	ベキトコロ	読
見たところ(変わらない)	ミタトコロ	毎
見どころ	ミトコロ	林、毎
役どころ	ヤクトコロ	記、毎、朝
(普通)の人間なら(当然)おこり出す(ところだ)	リダストコロ	林
(彼)には(人を)ひきつける(ところがある)	ルトコロ	林
(家)を(建てる)所	ルトコロ	文
(人の)知るところ(となった)	ルトコロ	林
(私が)愛する(ところ)の(家族)	ルトコロノ	林

「物」「者」「もの」使用例	読み	典拠
揚げ物	アゲモノ	正
(そんな時は何も聞かずに)いてあげる(もの)だ	アゲルモノ	林
(そんなことがある)もの(か)	アルモノ	林
(こういう)もの	イモノ	記、日
(誰が)言う(もの)ですか)	イモノデ	林
家の(者)を迎えにやる)	イモノ	林
(故郷とは)いい(もの)だ)	イモノ	林
(その回答は)正しい(もの)と認める)	イモノ	記
(正しい)もの(と認められる)	イモノ	言
(正しい)もの(と認める)	イモノ	文、読、漢、正
(どんな人も)お世辞には(弱い)もの(だ)	イモノ	林
美しい(物)には(美しい心)が宿る)	ウツクシイモノ	朝
大物	オオモノ	正
臆病者	オクビョウモノ	記
贈り物	オクリモノ	毎
愚か者	オロカモノ	記
変り者	カワリモノ	記
(親の言うことは)聞(く)もの(だ)	クモノ	記、読、正
(かかる原理に)基(づ)く(もの)である)	クモノ	言
比べ(もの)に(ならない)	クラベモノ	記、日、読
現代物	ケンダイモノ	林
剛の者	ゴウノモノ	記
極道者	ゴクドウモノ	記
(そう)したい(もの)だ)	シタイモノ	記

(人間はとかく過去を美化)したがるもの(らしい)	シタガルモノ	林
(・・・)したもの(だ)	シタモノ	記
(返事)したもの(の)	シタモノ	記、正
死に物狂い	シニモノグレイ	漢
若輩者	ジャクハイモノ	記
(目安を示)すもの(である)	スモノ	文
(それは)切腹物(だ)	セツブクモノ	林
切腹もの	セツブクモノ	記、正
そうはいうものの	ソウハイウモノ	朝
(出題)そのもの(が間違っている)	ソノモノ	記
たいしたもの(だ)	タイシタモノ	朝
食べ物	タベモノ	林
(置き忘れ)た物(がある)	タモノ	言
(最高裁判所が指名)した者(の名簿)	タモノ	言
(あの難関をよくくぐり)抜けたもの(だ)	タモノ	林
(あの男にも)困ったもの(だ)	タモノ	林
(何を)するかわかったもの(ではない)	タモノ	林
(食べ)たもの(ではない)	タモノ	朝
(彼はもう)帰ったもの(と思われる)	タモノ	林
(あきらめ)たもの(とみえて、その後何も)言っていない)	タモノ	林
(あの映画は)一度見)た物(だ)	タモノ	林
(大人にな)ったもの(だ)	タモノ	朝
(だれか)試)して)みる者(はいないか)	テシルモノ	林
(幸福)という物(はとかく失われやすい)	トイウモノ	林
(人情)というもの(は)	トイウモノ	記、正
夏物	ナツモノ	林
怠け者	ナマケモノ	記
西陣物	ニジジンモノ	林
塗り物	ヌリモノ	林
(三)年物(のワイン)	ネンモノ	林
ノーベル賞もの(の発見)	ノーベルショウモノ	読
のけ者	ノケモノ	記
(18歳未満)の者	ノモノ	文
(お前)のような者(は勘当だ)	ノユナモノ	林
(まったく)冷や汗物(だった)	ヒヤアセモノ	林
冷や汗もの	ヒヤアセモノ	記、正
北海物	ホッカイモノ	正
掘り出し物	ホリダシモノ	毎
見もの	ミノ	朝
物言い	モノイ	新、読、朝、正
もの言い(をつける)	モノイ	N、漢
物忌み	モノイ	新、読、朝、正
もの忌み	モノイ	N、漢
物入り	モノイ	読、朝、N、漢、正
物憂い	モノウイ	毎、朝、正
もの憂い	モノウイ	記、漢
もの憂げ	モノウゲ	漢
物売り	モノウリ	読、毎、朝、漢
物置	モノオキ	記、新、読、朝、漢、正
物置小屋	モノオキゴヤ	朝、漢
物おじ	モノオジ	毎、正
ものおじ	モノオジ	漢
物惜しみ	モノオシミ	読、毎、朝、漢、正
物音	モノオト	漢、正
物覚え	モノオボエ	新、読、毎、朝、正

物思い(にふける)	モノオモイ	新、読、毎、朝、漢、正
(窓から)物(が)落ち(て来た)	モノガオチ	林
物書き	モノカキ	漢
物陰[物に隠れて見えない所:物陰から飛び出す]	モノカゲ	記、毎、漢
物影[何かの姿-形:不気味な物影]	モノカゲ	記、毎、毎
物語(る)	モノカタ	読、毎、朝、漢、正
物堅い	モノガタイ	新、読、朝
物語	モノガタリ	記、新、読、毎、朝、漢、正
物悲しい	モノガナシ	正
もの悲しい	モノガナシ	記、漢
(・・・)ものかは	モノカハ	毎、朝
物が分(か)つて)いる人)	モノガワカ	林
ものぐさ	モノグサ	記、毎、朝、漢
物狂い	モノグレイ	正
物乞い	モノゴイ	漢、正
物心(が)付(く)	モノゴコロ	漢
物腰	モノゴシ	漢
物事	モノゴト	記、漢
物差し	モノサシ	記、新、読、毎、朝、漢、正
もの寂しい	モノサビシ	林、漢
物静か	モノズカ	記
もの静か	モノズカ	林、漢
物知り	モノシリ	記、読、朝、漢、正
物好き	モノズキ	記、朝、漢、正
ものすごい	モノズゴ	記、漢、正
物する	モノスル	記
ものする	モノスル	毎
(命あつての)物種	モノダネ	漢
物足りない	モノタリナ	記、正
もの足りない	モノタリナイ	漢
(甲はその責任を負う)ものとする[契約書ナドノ文言]	モノトスル	林
物ども(しない)	モノトモ	林、正
物取り	モノトリ	新、読、朝、漢、正
物にする	モノニスル	正
(英語を)ものにする	モノニスル	読
物に憑(か)れる	モノニツカレ	林
物にな(るか)どうか)	モノニナ	林
物にな(る)	モノニナ	記、正
物には(順序がある)	モノニハ	林
ものの(1分も)すれば)	モノノ	記
物の(出回り)	モノノ	言
もの(の)あわれ	モノノアワレ	漢
物の数(ではない)	モノノカズ	林、漢
物の怪[け]	モノノケ	林、正
もの(の)け	モノノケ	漢
物のはずみ	モノノハズミ	林
もの(の)弾み	モノノハズミ	記
物の見方	モノノミカタ	正
物の見事	モノノミゴト	記
物の役(に)立たない)	モノノヤク	林
物(は)は(乏)しくても心は豊(か)で)ありたい)	モノハ	林、朝
物(は)言(い)よう	モノハイイヨウ	正
物(は)考(え)よう(だ)	モノハカンガエヨウ	林
(価値は安い)が、物(は)確(か)か(だ)	モノハタシカ	林
物(は)試(し)	モノハタメシ	記、正
物干(し)台)	モノホシ	記、新、読、朝、正
物干(し)ぎお)	モノホシ	漢、正
物干(し)場)	モノホシ	漢



物欲しげ	モノホシゲ	記、毎、朝
もの欲しげ	モノホシゲ	漢
物まね	モノマネ	記、毎
ものまね	モノマネ	漢
物見(高い)	モノミ	記、毎、朝、漢
物見遊山	モノミユサン	記、漢
物珍しい	モノメズラシ	記、日
もの珍しい	モノメズラシ	漢
物申す	モノモウス	正
物も食べ(ない)	モノモタヘ	林
物持ち	モノモチ	読、朝、漢、正
物々しい	モノモノシ	記、正
ものものしい	モノモノシ	漢
物もらい	モノモライ	漢
物柔らかい	モノヤワラカ	記、読、毎、朝
もの柔らか	モノヤワラカ	漢
物分かり(がよい)	モノワカ	記、毎、漢、正
物別れ	モノワカル	記、新、読、毎、朝、漢、正
物忘れ	モノワスレ	記、読、朝、漢、正
物笑い	モノワライ	記、読、毎、朝、漢、正

物を言(う)[口出し、憶測で物を言う]	モノライ	林、記
ものをいう(役立つ)経験がものをいう	モノライウ	記
物を売る	モノワウル	日
(階段に)物を置くのは危険だ)	モノヲオ	林
物を思(う)	モノヲオモ	林
(人の)物を借り(る)	モノヲカリ	林
(日本的な)物を好(む)	モノヲコノ	林
物を大切に(扱う)	モノヲタイセツニ	文
焼き物	ヤキモノ	林、記
汚れ物	ヨコレモノ	記
読み物	ヨミモノ	林
(自動車に積載する物(の制限))	ルモノ	言
(所有する)物	ルモノ	言
(他人には親切にするもの(だ))	ルモノ	朝
(将来これを受け)る者(の一代に限り・・・)	ルモノ	言
若い者	ワカイモノ	林
忘れ物	ワスレモノ	日
(二人でよく遊)んだもの(だ)	ンダモノ	林

【注】

N(NHK新用字用語辞典 日本放送協会 2008)と、漢(NHK漢字表記辞典 NHK放送文化研究所 2012)でよく見られる、漢字表記と平仮名表記を併記し、どちらもあり得るとしている場合は、始めに記載されているものを採用した。

* * *